

Ⅱ-1

C系で学ぶこととは？（C系シラバス表）

臨床・カウンセリング体験領域 生徒指導・進路指導・保護者支援の臨床技術（C系）

科目分類	1000時間体験学修	必修時間数	20時間
授業科目	生徒指導・進路指導・保護者支援の臨床技術（C系）		
授業題目（英語）	Training of counseling	履修年次・開講時期	2年生後期または3年生前期を割りあてる
主担当教員	C系G系専任教員		
授業形態	実習	曜日・時限	別途参照
授業の目的	<p>■ねらい この実習では、いじめや不登校への対応や、こころの問題を抱える児童・生徒に対する適切なケア、または学級崩壊などの今日における教育的課題について理解を深め、これらの課題に対応する上で必要となる、臨床マインド（相手の気持ちを理解し、相手の気持ちに添った関わりができる知識・技能・態度）を養うことを目的とします。C系では心理テストなどを体験することを通して、自己理解を図ります。また、ロールプレイ等の体験を通じて、自分のコミュニケーションの特徴についてふりかえり、自己課題の把握を試みます。これらは教育者（対人援助者）としての重要な素地作りといえます。</p> <p>■カリキュラムの位置づけ この実習は、1000時間体験学修における臨床・カウンセリング体験領域に属する体験内容です。2年前期に開講される2つの講義（コア授業科目）「生徒指導・進路指導論」、「臨床教育相談論」による知的理解を踏まえた上で、この実習では個人、あるいは小グループによる臨床心理学的な体験を通じ、カウンセリング・マインドについて学びます。</p>		
科目の到達目標（達成度）	<p>以下の3点を目標とします。</p> <p>a) 【自己理解の深化】心理テスト等の体験を基に自分の性格特徴について捉え、自己理解を深めることができる。</p> <p>b) 【コミュニケーションの向上】ロールプレイ等の体験を通じて、自分のコミュニケーションの特徴についてふりかえり、よりよいコミュニケーションのあり方について検討することができる。</p> <p>c) 【自己課題の把握】a)、b)等の体験を基に、今後の自分が取り組むべき課題について捉えることができる。</p>		
授業の内容	<p>個別カウンセリングにおける知識・技能の習得を目的とし、演習を行います。具体的な内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 自分とのコミュニケーション（身心相関） 3. コミュニケーション・スキル1 ～自分の聴き方の持ち味～ 4. コミュニケーション・スキル2 ～プチどん話とリソース～ 5. コミュニケーション・スキル3 ～リフレーミング～ 6. こころの天気描画法 7. 子ども理解 ～実際の学校現場から～ 8. 怒りのマネジメント1 9. 怒りのマネジメント2 ～シナリオ・ロールプレイ～ 10. 全体ふりかえり <p>特別講義については教育現場、あるいはその隣接領域の外部講師を招き、各専門領域についての講義を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 11. 児童虐待とその被害による影響 12. 中学校における生徒指導・教育相談の実際 13. 生徒指導・教育相談の課題 ～教育行政の立場から～ 14. 教育センターにおける教育相談 15. 学校教育におけるスクールカウンセラーの関わり 		
授業の進め方	心理テストやロール・プレイ等を実習形式で体験します。毎回講義の最後に、体験をふまえた個人感想レポートの提出を求めます。		
授業キーワード	カウンセリング・マインド、ロールプレイ、心理アセスメント		
テキスト	教育支援センター配布テキストを使用します。		
参考文献	必要に応じて適宜紹介します。		
その他授業資料等	課題内容等の講義資料を適宜配布します。配布資料、感想レポートは各自ファイルに綴じて管理してください。		
時間認定の方法	1回の実習を2時間とカウントし、10回を体験することで20時間の必修時間数となります。詳細は別途説明しますが、10回全て出席することを原則とします。		
オフィスアワー	特に設けません。		
履修上の指導	他講義等と時間が重複する等、やむを得ない理由が生じた場合は速やかに相談すること。		
その他	連絡事項は1000時間体験学修（臨床・カウンセリング体験領域）の掲示板において掲示します。各自確認をすること。		